

# 上越教育大学振興協力会事務局便り

## 上越教育大学からのお知らせ

### ○馬上杯が完成しました

本学の高石次郎教授指導による上杉謙信が行軍中に使ったとされる馬上杯の制作がこのほど無事完了しました



(=写真左)。これは、上越青年会議所が8月29日に行った創立記念式典の招待客への記念品とするために、高石教授に制作指導を打診したことに始まったもので

す。馬上杯は造形が難しく、バランスも取りにくい焼き物で制作には手間がかかるところなのですが、「こんな時代だからこそ、自分たちの手で心を込めて作った物を記念品にしてはいかがか」という高石教授の提案で、同会議所のメンバー自らが指導を受けながら作ることになりました。取材に訪れたこの日は、同会議所のメンバーが丁寧に釉薬を掛けていました(=写真下)。高石教授は「企業の方がお客さんのためにこんなに真剣に馬上杯を作ることに感銘しました。この気持ちを大切に



してほしい」と語りました。

### 人形浄瑠璃「弘知法印御伝記」を講演します

先号の事務局便りでご案内しました、ゆかりの地での人形浄瑠璃を11月3日(火)13:00~本学講堂で開催します。観覧ご希望の方は事前の申込により振興協力会会員様ご招待状を送付させていただきますので10月8日(木)迄に事務局までお申し込み下さい。



### ○韓国教員大学校から学生が来ました

協定校の韓国教員大学校から8月18日、16人の学生が来ました。期間は25日までで、学生との交流や市内見学、2泊3日のホームステイ等を体験しました。18日の午後には本学に到着後、開校式(=写真左)、歓迎会等を行いました。出迎えをした本学学生は「国際交流にとっても興味があり参加しました。自分の韓国語が通じるか不安はありますが、会話をたくさんして楽しみたいと思っています。」と語っていました。



※次ページに続きます



### ○短期外国人留学生発表会を行いました

1年間の留学を終え8月末に帰国した外国人留学生が、8月10日に短期外国人留学生報告発表会を行いました(=写真左)。中国からの留学生3人とトルコからの留学生1人の報告で、日本の若者に対する感想や日本の文化を理解する姿勢が伺える内容でした。4人とも流暢な日本語で報告し、また質問に対して丁寧に受け答えをしていました。発表者一人一人の一年間の学習の成果を伺うことができる内容でした。

### ○民踊流しに参加しました

7月23日の上越祭(=写真右)、8月23日の謙信公祭の民踊流しに学長を始め本学職員が参加しました。謙信公祭の時は学生を含め約40人で、春日山節、越後いたこ、上越サンバを踊りました。今回は学生の参加が多く賑やかに楽しく踊りました。



### ○文部科学省「親子でつくろう我が家のルール」 標語募集に本学の片平事務員が入選しました

これは、すべての教育の出発点である家庭に対して、基本的なルールづくりの大切さを呼びかけていくために文部科学省が募集し当該職員が応募したもの。その作品「朝が来た!!早起き・お散歩・おいしいごはん」は文部科学大臣賞に選ばれ、先日表彰式に招待されました。応募総数12,564作品中、文部科学大臣賞7作品の一つとなりました。作品は文部科学省のホームページに掲載されています。

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/21/07/1281355.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/21/07/1281355.htm)

### 振興協力会からのお知らせ



### ○中国語講座補講を行いました

8月23日ワークパル上越で会員の皆様を含め17人の参加者で本場ギョーザ作りを楽しみながら、異文化理解を深めました(=写真左)。

### ○会費納入のご案内

会費納入が確認できない会員様に請求書を同封させていただきました。ぜひ継続したご支援を賜りたく9月30日の納付期限までに入金をお願いします。

お問い合わせ先

上越教育大学振興協力会事務局

〒943-8512 上越市山屋敷町1番地  
上越教育大学広報室内

電話 025-521-3626

Fax 025-521-3627

Eメール kouhou@juen.ac.jp

教育者としての「使命感」・「人間愛」・「創造力」を  
有する教員の養成を目指す

 **上越教育大学**  
Joetsu University of Education